

医師・看護師・介護職員の大幅増員を

# 日本医労連増員闘争ニュース

第 86 号

2010年5月13日

日本医労連増員闘争本部

TEL: 03-3875-5871

FAX: 03-3875-6270

## 新潟 なーすうえーぶ・白衣の総行動・看護ゼミ

### ナースウエーブ



新潟県医労連は、5月8日、新潟市・古町商店街のイベント「古町どんどん」にて、春のナースウエーブを行いました。看護闘争委員会を中心に、約20名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、商店街は大勢の人で賑わいました。そんな中、健康チェックコーナーとして、血圧・体脂肪・骨密度の測定、健康相談などを行いました。準備段階から周囲の興味を引き、「まだ始まらないの？」と声をかけて下さる方が何名もいらっしゃいました。開始早々に行列となり、120名を超える方々が利用されました。また、署名への協力もお願いし、2時間で319筆を集約することができました。「医師・看護師

不足は、病院を利用する私達にも関係する問題だから署名します」「以前は看護師をしていたので、大変さが分かる。頑張ってください」などと声をかけて下さり、署名にご協力いただきました。

### 白衣の総行動

新潟県医労連は4月22日、新潟市で白衣の総行動を行い、100名が参加しました。今回は古町十字路に集中してチラシ配布・署名行動にとり組み、362筆を集約しました。看護闘争委員会が交代でマイクを握り、「限界を超えた苛酷な労働実態のなか、健康不安や満足な看護ができないジレンマから全国的に看護師の退職が後をたたず、看護師不足が問題となっています」などと訴え、署名への協力を呼びかけました。

その後は西堀通からデモ行進を開始し、「医師・看護師を2倍に増やせ」「医療・介護保険を充実せよ」などとシュプレヒコールを行いながら、榎谷小路を通り、クロスパル前までアピールしました。

学習会では、日本医労連の「ヨーロッパ看護・介護職場視察ツアー」に参加された、新潟民医労の坂井希美子委員長と羽賀泰子さんに「スペイン・フランスの医療・介護事情」と題して報告していただきました。



### 看護ゼミ

新潟看護ゼミナールでは5月11日、「電子カルテ」学習のために信楽園病院を訪問し、22名が参加しました。はじめに電子カルテシステム操作方法の概要を看護主任の方から説明していただき、その後は小グループに分かれて病院内を見学しました。救急・外来・血液浄化療法室（透析室）を案内していただき、病棟では、実際に電子カルテを操作していただきながら説明を受けました。

参加者の声

○電子カルテの使い方や実際を見ることができて、利点・欠点がよくわかりました。施設内も見学することができて、病院を比較することができたのでよかったです。

○当院も電子カルテですが、うまく連動していない部分があり、手間が多いが、信楽園では記録や経過が分かりやすくいいと思いました。

【新潟県医労連 荒木さんより】